

「ひめじぐるめらんど」開催

# 30年の歴史をパネルに

兵庫県姫路市の春の恒例イベント「第30回 ひめじぐるめらんど」が1〜3日、姫路城を望む姫路大手前公園で開催された。

播磨地域の食品製造関係企業12社が集まった播磨食品異業種協議会を中心に構成されたひめじぐるめらんど実行委員会の主催となり、約40社が食品関連の屋台を出店した。

初日のオープンクセレ

モニーで山野昭彦実行委員

長(ヤマノ社長)は、「今

年は30回目の節目を迎え、

過去の開催を振り返るパネ

ル展示も行う。昨年、姫路

城がランドオープンを迎

え、全国だけでなく、世界

中から多くの人に来て賑わ

っている。昨年は、入場者

で日本一だった熊本城を超

えたが、今年は270万人

を超える見込みで、名実と

もに日本一となる」とあい

さつした。

会場では、30年の歴史を

パネル展示で振り返る「ひ

めじぐるめらんど今昔物

語」のコーナーを設置。昭

和中期に製造し、唯一現存

するヤエカキ酒造の看板な

ども公開された。

播磨食品異業種協議会の

出店エリアでは、ヤエカキ

酒造は「八重垣」をはじめ

とした清酒や焼酎を販売す

るとともに、兵庫県産米1

00%使用で糖類無添加の

「紫黒米健康酢」の試飲も



「ひめじぐるめらんど」のテーマカ

ット

キン・カサインの飲料を冷水機で冷やして販売。また、設備を導入している兵庫県の食品メーカーの酢も販売した。

播州調味料は、500円で「ダイヤのうどんスープ」をはじめとした小袋スープ7アイテムの詰め放題を実施し、隣に出店していた即席麺の製造販売を行うイトメンのそば、うどんいずれかをセットにして販売した。

実施した。

清酒メーカーなど様々な

食品メーカーに向けて冷水

機などを製造販売している

第一工業は、同じ協議会の